

今後の進め方について

# 検討事項



# 検討事項

## (1) 情報と情報化の本質を定義する

- ・ 時空間組織化原理の崩壊等、情報化がもたらす社会の変化を捉える。
- ・ 情報の秘めた力を認識し活用する手立てを考える。

## (2) 高度情報通信社会がもたらす、文化や生活様式、ひいては考え方や生き方そのものにかかわる構造的な社会変革について検討する

- ・ 社会変革の本質を捉え今後の変化を読み取る。
- ・ 情報環境を主体的に形成していく権利を定める等、情報公開法、個人情報保護法につぐ第三の情報関連法の必要性を検討する。



# 検討事項

## (3) 高度情報通信社会がもたらす恩恵を活用したコミュニティづくり、まちづくり、そして信頼できる社会づくりについて検討する

- ・ 情報流通のあるべき姿を検討する。
- ・ 自己形成、社会の中で自らの価値や位置付けを発見できる仕掛け作りを検討する。
- ・ 住民自らの情報の受発信を手助けし、住民、コミュニティ、行政を有機的に結びつけ豊かな人間交流を図ることを検討する。
- ・ パートナーシップのまちづくりを進めていく中での、新しい住民会議と地方公共団体のあり方について検討する。

## (4) 高度情報通信社会がもたらす光と影の統制について検討する

- ・ 影の統制について十分検討する。特に、住民に対する情報活用能力の一つとして周知していく方法を検討する。



# 検討事項

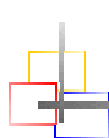
## (5) 住民の行政サービス向上に対する要請の変化、行政改革や地方分権等による、地方公共団体のあり方について検討する

- ・ 必要な情報を必要な人にどのようにして届けるか、仕組み仕掛けであるITをどう活用するか検討する。
- ・ 福祉、医療、教育といった分野にITをどう活用するか、また活用できるような仕組みをどのように構築していくか。そのために必要な政策的バックアップや問題処理の体制づくりを検討する。
- ・ 情報戦略(組織経営戦略、都市経営戦略、官民協働推進戦略)を検討する。
- ・ インターネットによる住民参加の拡充を検討する。

## (6) デジタルデバイドの問題の本質を捉える

- ・ 高度消費社会以降の社会をどのように構想するかという大きな社会的問い、高度消費社会の総体的再編成が生成するメカニズムと再編成により生み出される経済的格差、社会格差がどのようなものになるのかという問いを含んだものとして検討する。

# 検討スケジュール



# 検討スケジュール

## (1) 策定作業の開催期間

2004年8月～2005年6月

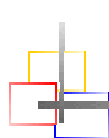
## (2) 懇話会開催予定・内容案

**第1回 2004年10月14日(木)午後2時から**

懇話会の概要、開催予定の説明、委員紹介、町長あいさつ、会長・副会長の選任、国・京都府の情報化状況、精華町の情報化状況など

**第2回 2004年11月4日(木)午後2時から**

「精華町の情報化(IT化)に関する住民アンケート」の結果、委員からの情報化(IT化)の取り組みについての報告など



# 検討スケジュール

## (1) 策定作業の開催期間

2004年8月～2005年6月

## (2) 懇話会開催予定・内容案

### 第3回 2004年12月上旬

第1回、第2回の懇話会で出された意見や提案を踏まえ、事務局が作成した新情報化計画（案）が示され、この案に対して委員から質問や意見をもらう

### 第4回 2005年2月上旬

精華町情報化基本計画検討懇話会で出された意見・提案を集約した「意見書」の案が会長から示され、これに対して委員から意見をもらう